

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネスコミュニケーションⅡ(GB)		（ TGB226 ）
講義名（コード）	TGB_ビジネスコミュニケーションⅡ_A		（ TGB226A ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	槌谷 智子	時間数	30
成績評価教員	槌谷 智子	講義期間	秋学期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が就業後の課題遂行能力を高めるために、ビジネス場面での専門的な話題でやりとりができるようになる。
全体の内容と概要	日本語能力試験N1の語彙と読解を演習形式で学び、N1レベルの日本語文章にたくさん触れ、特に「書き言葉」で書かれた文章を素早く理解できるようにする。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	事実や論理関係に注目して長文を読み解く力をつける。	必修パターン：全体の内容(1) 20日で合格N 1 文字語彙文法第10日
2	事実や論理関係に注目して長文を読み解く力をつける。	必修パターン：全体の内容(2) 20日で合格N 1 文字語彙文法第11日
3	心の動きや考え方に注目して長文を読み解くことができる。	必修パターン：筆者が言いたいこと(1) 20日で合格N 1 文字語彙文法第12日
4	心の動きや考え方に注目して長文を読み解くことができる。	必修パターン：筆者が言いたいこと(2) 20日で合格N 1 文字語彙文法第13日
5	心の動きや考え方に注目して長文を読み解くことができる。	必修パターン：連絡文 20日で合格N 1 文字語彙文法第14日
6	JLPTの読解の傾向に対応できる力を身につける。	必修パターン：情報検索 20日で合格N 1 文字語彙文法第15日
7	JLPTの読解の傾向に対応できる力を身につける。	必修パターン：長文A unit 1 20日で合格N 1 文字語彙文法第16日
8	模試を行い試験に向けて実践的な力をつける。	演習・解説（JLPT模試 文字語彙） 20日で合格N 1 文字語彙文法第17日
9	模試を行い試験に向けて実践的な力をつける。	演習・解説（JLPT模試 文字語彙） 20日で合格N 1 文字語彙文法第18日
10	JLPTの読解の傾向に対応できる力を身につける。	必修パターン：長文A unit 2 20日で合格N 1 文字語彙文法第19日
11	JLPTの読解の傾向に対応できる力を身につける。	必修パターン：長文B unit 1 20日で合格N 1 文字語彙文法第20日
12	JLPTの読解の傾向に対応できる力を身につける。	必修パターン：長文B unit 2 20日で合格N 1 文字語彙文法まとめと練習
13	JLPTの読解の傾向に対応できる力を身につける。	必修パターン：長文B unit 3 20日で合格N 1 文字語彙文法まとめと練習
14		期末試験
15		期末試験 解説 & 追試

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	20日で合格N 1 文字語彙文法 必修パターン読解 N1
参考文献・資料等	
備考	クラスの状況に応じて進度を変えることがあります。